

リーディングDXスクール事業
天草市教育委員会指定研究推進校公開授業
御所浦小学校 研究概要

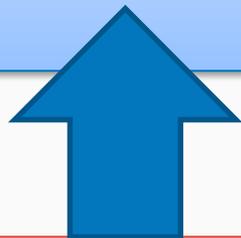


- ① 昨年度までの研究
- ② 本年度の研究について

1. 昨年度の研究

(1) 昨年度の研究について

学校教育目標
夢や希望をもち、
目標に向かって実践する子どもの育成



R5年度 研究主題
目標に向かって主体的に実践する子どもの育成
～主体的・対話的で深い学びを実現する
「学び合い」の授業づくりをとおして～

1. 昨年度の研究 (2) 研究の視点と成果

視点①

主体的・対話的で
深い学びを生む授業づくり

- 単元デザインの工夫
- 授業作りの工夫
- ICTの効果的な活用

視点②

主体的・対話的で深い学びに
生かす学習基盤づくり

- 朝活動の活用
(話し合いタイム, SST等)
- バリスタタイムの活用
- 家庭との連携
(自学コンクール、学びのヒーロー・ヒロイン)

学校全体として、「**学び合う**」力を
身に付けることができた

1. 昨年度の研究

(3) 課題

反省点

○学び合いを通じて、

教科の資質・能力を身に付けることができているのか。

○発言力のある子、理解力がある子は聞きながら理解する

ことができるがそうでない子の学びの手立てやみとりについて

○友だちや教師など周りの人を頼り、

多様な学び方を習得できていない

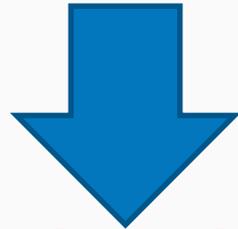
1. 昨年度の研究

(4) 今年度の研究で必要なこと

1. 学び合いの質を高めつつ

学び方の習得

2. 発言力のない子の学びの保障



ICTの効果的な活用で網羅する

2. 今年度の研究

(1) 今年度の研究テーマ

R6年度の研究テーマ

教師と児童が共に学び、学び合いを
通した学び方の習得
～指導の個別化・学習の個性化を図る
効果的なICTの活用を通して～

視点①

主体的・対話的で
深い学びを生む授業づくり

- 単元デザインの工夫
(学習の個性化を図る単元デザイン)
- 導入・展開・終末の工夫
- ICTの効果的な活用
(見方・考え方をはたらかせるICT活用)
(児童の考えを可視化・共有化するICT活用)

視点②

主体的・対話的で深い学びに
生かす情報活用能力

- 話し合いタイムの充実
- タイピング能力の育成
- タブレットを使ったドリル(まるくランド)
- 家庭学習でのICT活用
- クラウドの活用

今年度の研究 (3) 視点①について

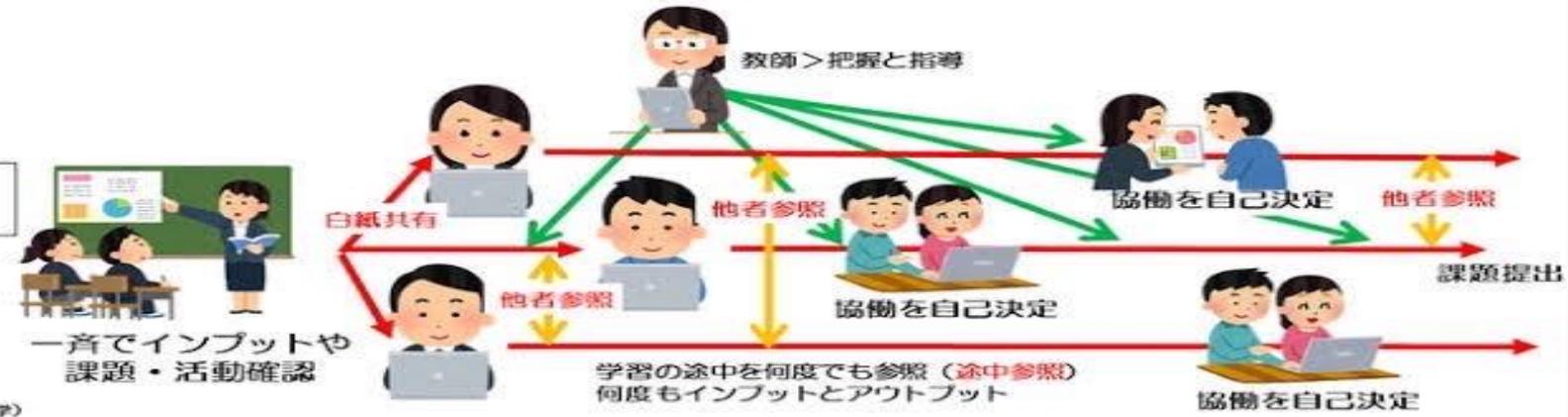
単線型 (従来型)

- ・教師の指示による
ステップバイステップ
- ・単線型
- ・協働すらも一斉



複線型 (クラウド型)

- ・一人一人が主語
自己判断で進行
- ・複線型
- ・必要な時に、
必要な相手と協働
- ・教師は把握と指導



©2022 高橋純 (東京学芸大学)

ICTを活用しながら多様な考えにふれ、学習を深める。
その中で学び方も習得していく。

今年度の研究 (3) 視点①について

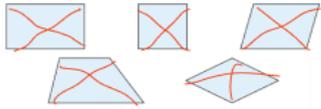
⑨ 平田かのん

か 四角形を対角線で切ると三角形は合同になるのだろうか。

予想 長方形は合同になる 台形はならない
正方形も合同になる ひし形もなる
平行四辺形も合同になる
なるものとならないものがある

学習のめあて
友達とよく考えて学習する

考えたこと



長方形は合同になる 台形は合同にならない
正方形も合同になる ひし形も合同になる
平行四辺形も合同になる
合同になるものとならないものがある

分かったこと

四角形に対角線を引くと長方形、正方形、平行四辺形、ひし形は合同になって、台形は合同にならないということがわかりました。合同になるものは辺の長さが等しいものや2つの辺の長さが等しいものは合同になって、辺の長さが違うものは合同にならないということがわかりました。対角線に分けて、合同になるのは、向かい合う辺と角が等しい。

学び方の振り返り

今日はあまりこつなつたことが友達と話せなかったから次はもっとこうなったよというふうに話せるようにしたいです。今日早く終わったのはあまり友達と話さずに集中してやっていたから早く終わったと思います。別に話さずにやると友達はどうなったかがわからないからもうちょっと話したいです。あと自分が終わったらすくわかつたことを書くしやなくて周りを見てわからなそうにしている友達いたら自分から教えようとか声をかけたいです。

個人の学習シート

学び方の振り返り

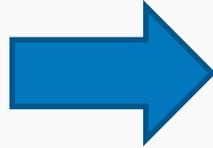
自分の学び方のふりかえり

→フィグジャムの使い方はまだ完璧ではないけど少し覚えられたからこれからも少しずつ覚えていきたいです。今日はあまり友だちとできなかったけど自分だけで考えられたことができたからこれからも続けていきたいです。一人ですると考えることに集中できるし友達とやるとわからないことが聞けるから普段の授業でもわからなかったら友達とてわかったら一人でするで交互にしていきたいです。

学び方の振り返り

自分は、友達と疑問を伝えたりわからないところを教えたりするが学習のめあてだったけど、疑問を伝え合うのができなかったです。友達とするは、〇〇さんとできた。わからないところがあっても自分は〇〇さんに聞いたし、〇〇さんも私に聞いてくれたのでわからないところはできたけど、疑問を伝え合うのはできなかったです。なぜできなかったかというと、今日の問題は、自分でできたからです。これからは、一人でもやってみたいですね。

学び方も
ふりかえる!



いつでも他者参照へ

今年度の研究 (4) 視点②について

話し合いタイム



教師作成した動画を見ながら、
問題点を話し合い、
話し合いのスキルに生かす

タイピング大会



タイピングはクラウド上に記録。
異学年で、使い方について
教える活動も実施

児童が学年に応じた情報活用能力を身に付け、多様な学び方を習得し、主体的に自分に合う学習で学ぶ中で、多様な考えに触れ学習を深めていこうとする姿

各学年で学び方の価値付けを

各学年で学び方を価値づける（低・中・高）

① どう学ぶか

- ・教科書をつかって
- ・自分の力で
- ・前の学習の考え方を使って
- ・友達に聞きながら
- ・先生と

② だれと学ぶか

- ・考えが同じ人
- ・考えが違う人
- ・困っている人
- ・同じ疑問を持つ人
- ・あまり交流していない人と

児童がICTを使うよさや、自分で学ぶことの良さを理解することができた。



本年度は後期にむけて、今一度自分たちで学ぶ良さを子どもと共有

低

ごしょうらしょうこうじょうぶるじえくと 御所浦小向上プロジェクト

めざすがた **じぶんにあった やりかたを
えらぶことが できる。**



スキル(まなびかた)

- ① したいことをみつける。
- ② することがわかり、さいごまでできる。
- ③ わからないことをきくことができる。
- ④ じぶんがかんがえたことをつたえることができる。

ふりかえりのレベル

- レベル1 OOが できました。
- レベル2 OOしたら、△△が できました。
- レベル3 つぎは OOしたいです。
- レベル4 OOさんの △△という いけんが～。

中

低・中・高に分けて、
学びのスキルと、ふり
かえりのレベルを職員
で考え、共有する。

高

御所浦小向上プロジェクト

目指す姿 **学び方を調整しながら自分で学習を進める子ども**



学び方のスキル

- ① 1人で、ペアで、グループで、先生と、**自分に合った学び方**を決める。
- ② **自分の問い**を見つけ、解決する。
- ③ 解決の方法（話し合いかタブレットかなど）を**自分で選ぶ**。
- ④ 分からない時には、**自ら動いて**解決へ。
- ⑤ 自分の**学び方を見つめ**、次に生かす。

ふりかえりのレベル

- Lv1 OOがわかった。
- Lv2 OOだと思ってたけど、OOだった。
- Lv3 OOと思ってたけど、△△で考えるとOOだと分かった。
- Lv4 OOと思ってたけど、△△で考えるとOOだと分かった。次はOOをやってみたい。
- Lv5 OOと思ってたけど、△△で考えるとOOだと分かった。次はOOを△△でやってみたい。

御所浦小向上プロジェクト

目指す姿 **自分に合った学び方を選んで学習できる！**



スキル(学び方)

- ① **自分で解決するか、友だちと解決するかを決める。**
- ② **何(教科書・ノート・タブレット)を使って解決するか決める。**

ふりかえりのレベル

- Lv1 「～が分かりました。～が分かりませんでした。」
- Lv2 「～というところが分からなかったけど、～といっしょにしたら、～を使ったら、～が分かりました。～ができるようになりました。」
- Lv3 「～というところが分からなかったけど、～といっしょにしたら、～を使ったら、～が分かりました。～ができるようになりました。これから、～していきたいです。」

校内研修反省 2学期のアンケートより

成果

- 児童が自分で学習することの良さに気づきはじめています。今までは何をすればいいのか、指示を待つような様子だったので、見通しをもつと自分で学ぶようになってきた。
- 難易度高めの課題や、意見が分かれる課題などの話す必要性のある課題であれば、児童が自ら主体的に学んでいた。
- 低学年の児童でもICT活用は可能ということが分かった。児童がICTを使う長所について言及していた。

課題

- 児童の主体の学びの中で、教科の見方・考え方を働かせながら学習ができているのか。
- 学びを調整しながら主体的に学習していると思ったら、習熟をはかる場面で全く活用できていなかった。
- 教師の役割と、児童の学びをどのようにみとっていけばいいのか。

- 教科特有の学びの良さが分かり、それらを生かしながら児童が個別最適な学びと協働的な学びを主体的に行うための工夫

- 教師の役割を再考し、児童主体の学びの中に児童の学び方及び、教師の働きかけによって確かな学びを得るための取り組み